



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年2月3日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4512 URL <http://www.wakamoto-pharm.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神谷 信行  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 増田 康彦 TEL 03-3279-0371  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	8,569	5.1	221	△33.1	280	△29.3	168	△33.8
27年3月期第3四半期	8,153	3.1	331	4.9	397	△6.1	254	4.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	4.85	—
27年3月期第3四半期	7.32	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	19,138	14,326	74.9	412.49
27年3月期	18,971	14,124	74.5	406.55

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 14,326百万円 27年3月期 14,124百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	7.1	130	△35.9	200	△14.4	110	32.0	3.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	34,838,325株	27年3月期	34,838,325株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	107,325株	27年3月期	96,315株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	34,737,601株	27年3月期3Q	34,754,181株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、表示方法の変更に伴い売上高と平成27年3月期第3四半期の営業利益を組替えしております。詳細については添付資料P.3「2. サマリー情報に関する事項（3）追加情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における医薬品業界は、引き続き医療費抑制策の基調は変わらず、一般用医薬品市場におきましても市場競争の激化が続いており、厳しい環境下で推移いたしました。

そのなかにあつて当社の医薬事業では、主力製品であるアレルギー性結膜炎治療剤「ゼペリン点眼液0.1%」、水溶性非ステロイド性抗炎症点眼剤「ジクロード点眼液0.1%」、緑内障・高眼圧症治療剤「リズモンTG点眼液」および主力製品へと育成すべき重要な製品の眼科手術補助剤・硝子体内注用副腎皮質ホルモン剤「マキュエイド硝子体内注用40mg」、緑内障・高眼圧症治療剤(特許を持った後発品)「カルテオロール塩酸塩LA点眼液」、「レボフロキサシン点眼液」を中心とした抗菌点眼薬シリーズおよび業務提携先との共同販売品である医家向けサプリメント「オキュバイト」シリーズ、A型ボツリヌス毒素製剤「ボトックス注用」、ドクターズサプリメントとして「オプティエイドDE」の販売促進を行ってまいりました。

薬粧事業では、主力製品である「強力わかもと」に加え、薬用歯磨き(医薬部外品)「アバンビーズDX」シリーズをリニューアルし、エビデンスに基づき口臭予防を訴求した新たな「アバンビーズ」シリーズ2製品および新製品「わかもと菊花ポリフェノール」(健康食品)の販売促進を行ってまいりました。

特販事業では、国内向けに医薬品原料の販売と他社受託品を、海外向けに「わかもと」、原料薬品および点眼剤の製造販売に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は85億6千9百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は2億2千1百万円(前年同期比33.1%減)、経常利益は2億8千万円(前年同期比29.3%減)、四半期純利益は1億6千8百万円(前年同期比33.8%減)となりました。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では長期収載品である「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンTG点眼液」が減少いたしました。また、「カルテオロール塩酸塩LA点眼液」、「ラタノプロスト点眼液0.005%」、「ラタノプロスト点眼液0.005%NP」、「マキュエイド硝子体内注用40mg」、「キャピリア アデノアイNeo」の売上が増加いたしました。その結果、売上高は43億9千7百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

薬粧事業では、主力製品の「強力わかもと」の売上が増加し、その結果、売上高は23億1百万円(前年同期比29.8%増)となりました。

特販事業では、海外向けの輸出用原料薬品等が減少いたしました。その結果、売上高は17億3千3百万円(前年同期比14.6%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、191億3千8百万円となり前事業年度末比1億6千7百万円(0.9%増)の増加となりました。流動資産は99億5千万円となり2億6千3百万円(2.7%増)の増加、固定資産は91億8千8百万円となり9千6百万円(1.0%減)の減少となりました。

流動資産が増加いたしましたのは、未収還付法人税等が減少した一方、受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加したことが主たる要因であります。固定資産が減少いたしましたのは、保険積立金が減少したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、48億1千2百万円となり前事業年度末比3千4百万円(0.7%減)の減少となりました。流動負債は28億8千1百万円となり2億1千4百万円(8.0%増)の増加、固定負債は19億3千万円となり2億4千9百万円(11.4%減)の減少となりました。

流動負債が増加いたしましたのは、支払手形及び買掛金が増加したことが主たる要因であります。一方、固定負債が減少いたしましたのは、長期借入金が増加したことが主たる要因であります。

純資産の部は、143億2千6百万円となり前事業年度末比2億2百万円(1.4%増)の増加となりました。その他有価証券評価差額金が増加したことが主たる要因であります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の74.5%から74.9%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、平成27年11月4日に公表いたしました通期の業績予想及び配当予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (3) 追加情報

従来、「営業外収益」に計上しておりました当社の研究開発の成果に基づくロイヤリティーに関する受取技術料は、当第3四半期累計期間から「売上高」に含めて計上しております。

この変更は、今後、研究開発成果のロイヤリティー収入について、製商品の販売と同等の重要性を持って注力する経営方針であること、また、今後、前事業年度に売上高に計上区分の変更を実施した海外導出にともなう受取技術料と一体化した収入が発生する可能性が予測されるために行うものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期累計期間の四半期財務諸表の組替えを行っております。この結果、前第3四半期累計期間の四半期損益計算書において「営業外収益」の「受取技術料」に表示しておりました101,967千円を「売上高」として組替えし、「受取技術料」(1,368千円)は重要性が減少したため「営業外収益」の「その他」に含めて表示しております。

また、「営業外費用」の「その他」に表示しておりました受取技術料に係る費用(10,000千円)を「販売費及び一般管理費」として組替えしております。

これにともない、前事業年度の貸借対照表において「流動資産」の「その他」に含めて表示しておりました未収入金のうちロイヤリティー収入に係る55,654千円を「受取手形及び売掛金」として組替えしております。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,572,188	2,444,155
受取手形及び売掛金	3,693,369	3,958,436
有価証券	406,417	406,513
商品及び製品	1,267,997	1,643,735
仕掛品	475,551	376,243
原材料及び貯蔵品	643,454	649,275
繰延税金資産	349,662	290,113
未収還付法人税等	118,251	20,705
その他	159,466	161,049
流動資産合計	9,686,359	9,950,227
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	7,778,103	7,864,756
減価償却累計額	△4,135,134	△4,335,832
建物(純額)	3,642,969	3,528,924
構築物	279,197	279,427
減価償却累計額	△213,105	△220,937
構築物(純額)	66,091	58,489
機械及び装置	7,678,671	7,813,444
減価償却累計額	△6,831,915	△7,053,866
機械及び装置(純額)	846,755	759,577
車両運搬具	35,201	43,861
減価償却累計額	△33,577	△24,957
車両運搬具(純額)	1,624	18,903
工具、器具及び備品	873,145	884,859
減価償却累計額	△733,189	△748,916
工具、器具及び備品(純額)	139,956	135,942
土地	341,552	341,552
建設仮勘定	22,605	20,695
有形固定資産合計	5,061,555	4,864,086
<b>無形固定資産</b>		
特許実施権	300,000	300,000
特許権	704	615
ソフトウェア	133,022	127,748
ソフトウェア仮勘定	—	31,220
その他	3,988	3,913
無形固定資産合計	437,715	463,497
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,864,289	3,079,023
保険積立金	667,500	529,651
その他	253,689	251,872
投資その他の資産合計	3,785,478	3,860,546
固定資産合計	9,284,750	9,188,130
資産合計	18,971,110	19,138,357

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,173,706	1,394,834
短期借入金	308,000	440,000
未払法人税等	—	5,480
未払消費税等	122,716	38,120
賞与引当金	232,900	104,165
返品調整引当金	20,000	11,000
その他	809,546	887,805
流動負債合計	2,666,870	2,881,406
固定負債		
退職給付引当金	1,304,488	1,249,315
役員退職慰労引当金	9,600	—
繰延税金負債	10,210	100,815
長期借入金	688,000	400,000
長期預り金	167,655	167,729
その他	—	12,804
固定負債合計	2,179,955	1,930,665
負債合計	4,846,825	4,812,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	6,953,006	7,017,112
自己株式	△26,896	△30,057
株主資本合計	12,997,823	13,058,768
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,126,460	1,267,517
評価・換算差額等合計	1,126,460	1,267,517
純資産合計	14,124,284	14,326,285
負債純資産合計	18,971,110	19,138,357

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	8,153,138	8,569,285
売上原価	3,639,866	3,730,231
売上総利益	4,513,272	4,839,053
販売費及び一般管理費	4,182,027	4,617,396
営業利益	331,244	221,657
営業外収益		
受取利息	453	319
受取配当金	39,236	41,919
受取補償金	67,010	—
その他	75,814	44,458
営業外収益合計	182,514	86,698
営業外費用		
支払利息	11,850	7,325
固定資産除却損	4,681	662
寄付金	16,205	15,451
支払補償費	61,914	—
たな卸資産処分損	17,738	—
その他	4,124	4,071
営業外費用合計	116,514	27,510
経常利益	397,245	280,845
特別利益		
固定資産売却益	—	1,149
特別利益合計	—	1,149
特別損失		
投資有価証券評価損	242	—
特別損失合計	242	—
税引前四半期純利益	397,002	281,995
法人税、住民税及び事業税	44,500	29,100
法人税等調整額	98,273	84,563
法人税等合計	142,773	113,663
四半期純利益	254,228	168,331

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注) 2
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,270,010	1,773,600	2,028,707	8,072,318	80,820	8,153,138	—	8,153,138
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,270,010	1,773,600	2,028,707	8,072,318	80,820	8,153,138	—	8,153,138
セグメント利益又は 損失 (△) (注) 3	△429,986	287,978	494,195	352,187	△20,943	331,244	—	331,244

(注) 1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 表示方法の変更にともない、「売上高」及び「セグメント利益または損失」の組替えを行っております。この結果、特販事業で101,967千円売上高が増加し、91,967千円セグメント利益が増加しております。

II 当第3四半期累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注) 2
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,397,321	2,301,485	1,733,373	8,432,179	137,106	8,569,285	—	8,569,285
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,397,321	2,301,485	1,733,373	8,432,179	137,106	8,569,285	—	8,569,285
セグメント利益又は 損失 (△)	△525,432	315,198	392,165	181,931	39,726	221,657	—	221,657

(注) 1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、不動産賃貸業であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。